

国保・累積赤字52億円

～国民健康保険税収納率向上に向けて～



● **国保税収納対策**

本市では、国民健康保険の安定的な運営の大きな課題である赤字解消のため、未納者に対して、休日・夜間を含む電話や世帯訪問による納付督促を行っております。また、支払い能力がありながら滞納している場合には、預貯金の差押え、乗用車のタイヤロック等の状況に応じた法的な手続きを進めていくこととしております。また、保険証の切り替えが済んでいない場合や、失業や病気等で納付が困難な方については、ご相談に応じますので、早めにご連絡するようお願いいたします。

● **国保財政について**

現在、那覇市の国保財政は、年々「赤字」幅が広がり厳しい局面に立たされています。増え続ける医療費を考え合わせると、改善の兆しが見えない状況です。

国保財政が厳しいというのは、全国の市町村でも同じですが、市では「前期高齢者財政調整制度」にも問題があると考えています。このままでは、国保の赤字解消のために一般会計からの繰入金金をさらに増やさなければならなくなり、市が行う福祉・行政サービスなど事業への影響が懸念されます。つまり、国保のみで問題ではなく、那覇市全体の問題です。

本県は出生率が全国一高いこと、前期高齢者(65歳以上75歳未満)の加入割合が競争の影響で低いとみられることから、その割合に応じて国から各市町村に交付される「前期高齢交付金」の額に影響があります。

被用者保険と国保の制度間の不均衡を調整する現行制度は本県各市の国保財政に不利であるとして「何らかの財政支援」と「算定方法の見直し」を求めるように要請しています。

お問い合わせ 国民健康保険課 ☎862-4262



4/3 4月3日はシ(4)ーサ(3)ーの日! ~第13回壺屋でシーサーの日~

4月3日は、語呂合わせで「シーサーの日」です。やちむん(焼物)のまち・壺屋では、この日を記念して「協働のまちづくりin壺屋」と題し「第13回壺屋でシーサーの日」(同実行委員会主催)が開催されました。「壺屋うふシーサー」前広場で行われたオープニング式典では、「壺屋シーサー太鼓」による演舞や、「壺屋児童館こども琉舞」による演舞、「首里末吉町獅子舞保存会」による子ども獅子が披露され、観客から大きな拍手が送られました。



4/4 はいさい!はいたい! 那覇幼稚園・那覇小学校開校式 ~新たな歴史と伝統のはじまり~

4月4日、久茂地小と前島小の統合によって新設された那覇幼稚園と那覇小学校の開校式が行われました。開校記念式典には、新2~6年生の児童と多くの保護者、関係者が出席し、開校を祝いました。兼浜みどり校長は、「希望にみちた船出を迎えることができました。『知心体夢(ちこたいむ)』を学校の基本理念として、児童・教職員ともに力を合わせて市を代表するような学校になるようがんばります」と話しました。そして、児童が作詞し、はいさい、はいたいで始まる校歌を児童全員で元気に合唱しました。



4/5 大輪の「ゆり」がつなぐ地域の輪 ~第2回大石公園ゆり祭り~

4月5日(～13日)、ヒージャー(やぎ)のいる公園で有名な識名の大石公園で、「第2回大石公園ゆり祭り」が開催されました。今や「ゆりの名所」として多くの方が訪れる人気スポットです。沖永良部島和泊町の有志の方々から球根が贈られたことをきっかけに植栽がはじまりました。現在では同町と伊江村の協力をえて、識名1丁目を中心とした自治会による植え付けの管理が行われています。多くの地域ボランティアに支えられ、今年も1万輪の花を咲かせました。



4/6 海のシーズン到来! ~波の上ビーチ海開き~

4月6日(日)、若狭の「波の上ビーチ」の海開きが行われました。今年は、工事のため、閉鎖されていた辻側のビーチも10年ぶりにオープンし、これにより波の上ビーチは、若狭側から辻側、そして、スキューバダイビングやバーベキューも楽しめる「波の上みそら公園」までの一帯がつながり、多くの方が楽しめるエリアになりました。海のシーズンが到来。みなさんも、ぜひ新しくなった波の上ビーチに「アシビガ イチャビラサイ!(遊びに行こう!)」。

4/10 祝!全国制覇! 9年ぶり5度目の日本一に輝く! ~興南高校ハンドボール部優勝報告~

4月10日、3月に開催された全国高校選抜大会で9年ぶり5度目の優勝を果たした興南高校男子ハンドボール部と関係者が優勝報告に、市役所に来訪しました。大会の最優秀選手にも選ばれた主将の下地利輝さんは、「優勝できたのは沖縄のみなさんの支えと応援があったからだと思います。また夏にはインターハイがあるので、連覇に向けてがんばっていきますので、応援よろしくをお願いします」と今後の抱負を話しました。翁長市長は「今日はすばらしい報告をしてもらいました。優勝おめでとうございます。この活躍が沖縄の若者に勇気と希望を与えていると感じています」と栄誉を称えました。

